

環境関連事業の展開 (その1)

リサイクル事業

三井金属グループは環境事業を資源リサイクルの一環として位置付け、廃棄物処理から汚染土壌の浄化リサイクルまで取り組んでおります。当社は日本全国に6つの製錬所を有しており、各製錬所それぞれの特徴を活かしたネットワークで多種多様な金属資源を分離・回収し再資源化することができます。また、環境資材の製造拠点、分析センター等が全国規模で資源リサイクルをサポートし、長年にわたり三井金属を支えてきた鉱山製錬事業は、環境重視型の新たな産業として生まれ変わりつつあります。

鉛製錬所である神岡鉱業、竹原製錬所では鉛溶鉱炉を利用し、廃バッテリーを解体して得られる鉛電極を主原料とした鉛リサイクルを行っております。リサイクルされた鉛はバッテリーメーカーへ販売され、新品のバッテリーとして再使用されます。また、使用済み電子機器を解体して得られるプリント配線基板を原料として金や銀の貴金属をリサイクルしております。さらに三井串木野鉱山では、金銀製錬設備を利用してメッキ廃液等から金、銀のリサイクルを行っております。

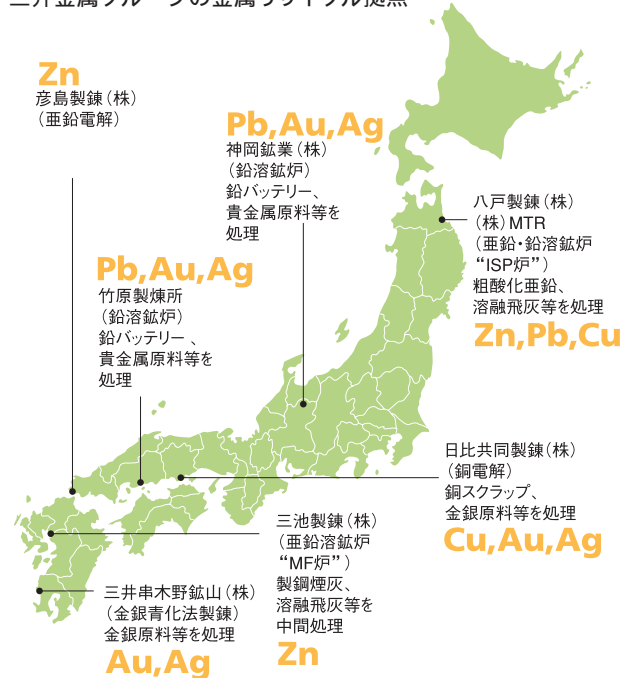
日比共同製錬では銅の製錬技術を活かして銅滓、銅屑のリサイクルを行っております。

亜鉛製錬所である三池製錬、八戸製錬では鉄鋼メーカーのリサイクル時に発生する電炉煙灰を主原料とした亜鉛リサイクルを行っております。さらに都市ゴミ処理等に伴って発生する溶融飛灰からの重金属の回収も進めております。

また、全国での溶融飛灰の広域的なリサイクルを推進するために、平成17年5月に八戸製錬所内に新会社(株)MTRを設立いたしました。MTRは溶融飛灰中に含まれる塩素分を溶解除去した脱塩溶融飛灰を隣接する大太平洋金属(株)に搬送、溶解し、そこから分離された亜鉛・鉛の濃縮した粗酸化亜鉛と銅メタルを三井金属グループでリサイクルいたします。

今後もしリサイクル事業の充実を図り、循環型社会形成に貢献してまいります。

三井金属グループの金属リサイクル拠点



神岡鉱業(株)鉛リサイクル工場



三池製錬(株)MF炉